

旭川市

2026年度 旭川市市勢要覧 [資料編]

ASAHIKAWA CITY MUNICIPAL TRENDS

旭川市の あゆみ

古くからのアイヌの人々の営みと、明治時代以降の北海道開拓の歴史によって、今日の旭川の基礎が築かれました。1890年(明治23年)に旭川、神居、永山の3村が開村。以来、交通・物流の要衝として、道北の行政、経済、文化の中心として発展を続けてきました。2000年(平成12年)には道内初の中核市に移行し、北北海道の拠点都市として今日に至っています。

明治2年	1869	蝦夷地を北海道と改称、上川を石狩国上川郡とする	
明治18年	1885	岩村通俊・永山武四郎一行、上川に入り、近文山より国見 1	
明治23年	1890	上川郡に旭川・神居・永山の3村を置く	
明治24年	1891	永山村に屯田兵入地(翌年、旭川村(現東旭川地区)に入地)	
明治26年	1893	旭川郵便電信三等局開局	
明治30年	1897	旭川警察署開庁、上川郡役所を旭川に移転開庁、郡役所を廃して支庁を置く	
明治31年	1898	上川線滝川～旭川間鉄道開通	
明治33年	1900	旭川村を旭川町と改称	
明治34年	1901	第七師団司令部、札幌より移転	
明治35年	1902	氷点下41.0度を記録(国内最低気温)、1級町村制施行	
明治37年	1904	初代旭橋完成	
明治40年	1907	旭川～釧路間鉄道全通	
明治41年	1908	旭川電灯株式会社(現北海道電力)、電力供給開始	
明治45年	1912	レルヒ中佐、第七師団着任、スキー指導 2	
大正3年	1914	区制施行	
大正5年	1916	常磐公園開園	
大正8年	1919	旭川商業会議所(現旭川商工会議所)設立	
大正11年	1922	市制施行	
大正12年	1923	北海道旭川師範学校(現北海道教育大学旭川校)開校	
昭和4年	1929	第1回慰霊音楽大行進(現北海道音楽大行進)開催 3	
昭和5年	1930	市立診療所(現市立旭川病院)開設	
昭和7年	1932	石北線全線開通、現旭橋完成	
昭和8年	1933	旭川放送局放送開始	
昭和9年	1934	旭川ガス株式会社、市内にガス供給開始	
昭和11年	1936	ロータリー完成	
昭和15年	1940	国策パルプ工業株式会社(現日本製紙)旭川工場操業開始	
昭和20年	1945	師団通を平和通と改称	
昭和21年	1946	旭川市産業指導所(現旭川市工芸センター)開所、市立図書館(現中央図書館)開設	
昭和25年	1950	北海道開発大博覧会開催	
昭和30年	1955	神居村・江丹別村合併	
昭和33年	1958	現市庁舎(総合庁舎)完成	
昭和35年	1960	第1回旭川冬まつり開催 4 、3代目旭川駅舎完成、市民憲章制定	
昭和36年	1961	永山町合併	
昭和37年	1962	陸上自衛隊第2師団編成完結、第1回旭川夏まつり開催、 アメリカ・ブルーミントン市と姉妹都市提携(ノーマル市とは昭和62年に提携)	
昭和38年	1963	東旭川町合併	
昭和41年	1966	旭川空港開港、東京便就航	
昭和42年	1967	旭山動物園開園、ソ連(現ロシア)・ユジノサハリンスク市と友好都市提携、園芸センター(現農業センター)開設	
昭和43年	1968	神楽町合併、第1回小熊秀雄賞授賞式(詩)	
昭和45年	1970	第1回中原悌二郎賞授賞式(彫刻)	
昭和46年	1971	東鷹栖町合併	
昭和47年	1972	全国初の恒久的歩行者天国、平和通買物公園オープン	
昭和48年	1973	旭川医科大学開校	
昭和50年	1975	市民文化会館開館 旭川地方に集中豪雨、市内3000戸が浸水	
昭和51年	1976	「ナナカマド」と「ツツジ」を市民の木、花に制定	
昭和53年	1978	「キレンジャク」と「カンタン」を市民の鳥、虫に制定	

昭和54年	1979	総合体育館開館	
昭和56年	1981	第1回旭川国際パーサースキー大会(現パーサーロペット・ジャパン)開催	
昭和57年	1982	旭川空港にジェット機就航、北海道立旭川美術館開館、夜間急病センター開設	
昭和59年	1984	スタルヒン球場オープン	
昭和60年	1985	道立旭川21世紀の森オープン	
昭和61年	1986	中小企業大学校旭川校開校、旭川大雪アリーナ開館	
昭和62年	1987	道北地域旭川地場産業振興センター開館	
昭和63年	1988	ときわ市民ホール開館	
平成元年	1989	韓国・水原市と姉妹都市提携	
平成2年	1990	スウェーデン王国のカール16世グスタフ国王陛下来旭、 国際家具デザインフェア旭川開催(以後3年ごと開催) 開基100年記念事業「日本のまつり・旭川」開催 5	
平成3年	1991	「頭脳立地構想」の地域指定を受ける	
平成4年	1992	株式会社旭川産業高度化センター(現旭川産業創造プラザ)設立	6
平成5年	1993	井上靖記念館開館、大雪クリスタルホール開館	
平成6年	1994	中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館開館、旭川冬まつりのメイン雪像 「水原城」、世界一の大雪像としてギネス社認定、中央図書館開館	
平成7年	1995	上川中部地区(1市8町)が地方拠点都市地域の指定を受ける、 中国・哈爾濱市と友好都市提携	
平成8年	1996	近文清掃工場稼働開始、旭川リサーチセンター開設	
平成9年	1997	旭川空港新滑走路2500メートル供用開始、 旭川市農業センター「花菜里ランド」開設	7
平成10年	1998	三浦綾子記念文学館開館、北彩都あさひかわ着工、地域総合除雪体制本格実施	
平成11年	1999	道央自動車道、旭川鷹栖～深川間の4車線化工事本格着工、上川支庁など道の6機関、 永山の上川合同庁舎に移転、旭川環状線が全線開通	
平成12年	2000	新火葬場「旭川聖苑」開設、中核市へ移行、旭川空港ビル全面オープン、道央自動車道、 旭川鷹栖～和寒間開通	
平成14年	2002	障害者福祉センター「おびった」開館	
平成15年	2003	平和通買物公園リニューアルオープン	
平成16年	2004	旭山動物園の7月と8月の月間入園者数が日本一 6	
平成17年	2005	公の施設の管理に指定管理者制度を導入、科学館「サイバル」開館	
平成18年	2006	旭川～ソウル、旭川空港初の国際定期便就航	
平成19年	2007	ばんえい競馬4市開催終了、家庭ごみ有料化、神楽市民交流センター開設	
平成20年	2008	総合防災センター中核施設運用開始	
平成21年	2009	映画「旭山動物園物語 ペンギンが空をとぶ」が全国公開、いきいきセンター神楽、神楽保育所複合施設開設	
平成22年	2010	市民活動交流センター「CoCoDe」開館、旭川市開村120年記念事業「北の恵み 食べマルシェ」開催	
平成23年	2011	JR旭川駅新駅舎(4代目)全面開業	
平成24年	2012	動物愛護センター「あにまある」開設 7	
平成25年	2013	旭川スタルヒン球場にナイター照明設置、ロシア・ユジノサハリンスク市で道北物産展開催 8	
平成26年	2014	駅周辺開発事業「北彩都あさひかわ」完成、まちづくり基本条例施行、旭川地域企業誘致東京サテライトオフィス開設	
平成27年	2015	南さつま市と姉妹都市提携、あさひかわ北彩都ガーデンオープン 東部まちづくりセンター開設、末広地域活動センター開館、北彩都子ども活動センター開館、 旭川まちなかしごとプラザ開設	
平成28年	2016	第8次旭川市総合計画策定、常磐公園開園100周年、旭川空港開港50周年、 子ども総合相談センター開設、北海道旭川高等支援学校開校	
平成29年	2017	旭山動物園開園50周年	
平成30年	2018	旭川市共同墓供用開始、旭川空港国際線ターミナルオープン	
令和元年	2019	ユネスコ創造都市ネットワーク(デザイン分野)への加盟認定	
令和2年	2020	東光スポーツ公園武道館オープン	
令和3年	2021	ICTパークオープン	
令和4年	2022	旭川大雪圏東京事務所開設、市制施行100年記念式典を開催	
令和5年	2023	旭川市立大学・旭川市立大学短期大学部開校 旭川市新総合庁舎開庁	

旭川家具・デザイン産業の歴史を振り返る

今では日本における家具五大産地として知られる「旭川家具」がどのように誕生したのか。また、デザイン産業の発展について、歴史を振り返ってみましょう。

明治23年	1890	木挽場を開設	
明治31年	1898	上川倉庫株式会社創業	
		私立旭川縫製専門学校開校(現志峯高校・現旭川市立大学及び旭川市立大学短期大学部)	
明治32年	1899	師団建設に伴い、多くの建築・木工職人が移住	
明治33年	1900	旭川木挽所操業開始 ①	
明治35年	1902	旭川偕行社竣工	
明治41年	1908	私立和洋裁縫女学校開校(後の精華女学校)	
大正4年	1915	旭川区木工品伝習所を開設 ②	
大正8年	1919	中原悌二郎「若きカフカス人」第6回院展に入選	
昭和9年	1934	旭川市産業指導所開所(現旭川市工芸センター)	
昭和21年	1946	旭川市窯業指導所開所(現旭川市工芸センター) 市立図書館(現中央図書館)開設	
昭和23年	1948	旭川市共同作業所開所(現旭川市工芸センター)	
昭和24年	1949	旭川家具・建具事業協同組合設立 商工省から重要木工集団地区の指定を受ける	
昭和25年	1950	北海道開発大博覧会開催、入場者51万人(7月15日～8月23日) 道立林業指導所業務開始(後の北海道立林産試験場)	
昭和29年	1954	旭川家具建具新作展開催 旭川木工振興協力を結成	
昭和30年	1955	旭川市木工芸指導所設立(現旭川市工芸センター) 第1回旭川木工祭開催 ③ 旭川木工デザイン研究会設立 第1回全国優良家具展(日本橋白木屋)にて熊坂工芸入賞	
昭和31年	1956	旭川建具事業協同組合設置	
昭和32年	1957	旭川家具工業協同組合設立	
昭和34年	1959	第1回北海道特産旭川家具建具東北見本市	
昭和37年	1962	第1回旭川総合卸見本市を開催 市の海外木工技術研修生として、小林正吾氏、川村勇氏、長原實氏を西ドイツに派遣	
昭和38年	1963	旭川木製品工業技術振興会主催によるデザイン講習会の実施 旭川市海外技術派遣制度開始	
昭和40年	1965	海外木工技術研修(西ドイツ)に旭川工芸指導所職員を3年間派遣 全優展で、上川木工が内閣総理大臣賞を受賞	
昭和41年	1966	海外の木工業界視察(ヨーロッパ、ソ連)	
昭和42年	1967	第16回技能五輪国際大会に桑原義彦氏2位入賞	
昭和43年	1968	小熊秀雄賞の第1回授賞式を挙行 復元した旧旭川偕行社を旭川市文化財に指定、旭川市郷土博物館として開館	
昭和47年	1972	平和通買物公園オープン 東海大学工芸短期大学開設	
昭和48年	1973	第1回旭川家具東京フェスティバル	
昭和50年	1975	旭川デザインシンポジウム開催	
昭和51年	1976	旭川市工芸指導所開所(現旭川市工芸センター)	
昭和53年	1978	北海道家具、サンフランシスコに出品(旭川8社、札幌2社)	
昭和54年	1979	サンフランシスコに家具常設展示場開設 第1回東京国際家具見本市が開催され、旭川から7社出品	
昭和55年	1980	優佳良織工芸館開館 第1回北欧視察団派遣 通産省・地方産業デザイン開発推進事業指定 旭川家具開発センター開設(現旭川デザインセンター)	

昭和60年	1985	旭川家具デザイン研究会(現・旭川家具商品開発研究会)発足
昭和61年	1986	第33回日本デザイン学会開催 中小企業大学校旭川校開設
昭和62年	1987	'87旭川国際デザインフォーラム開催 道北地域旭川地場産業振興センター開設
昭和63年	1988	国際デザインフォーラム旭川'88 SPIRIT OF DESIGN がインテリアセンター本社にて開催 旭川ファッションコンテスト開始(～1993年) 旭川市工業技術センター開設 旭川デザイン振興事業推進協議会(のち旭川産業高度化推進協議会)設立(～1995年) 旭川工芸デザイン協会設立 北海道家具展(MAKROS)開催
平成 元年	1989	旧旭川偕行社建物、国の重要文化財に指定 旭川市デザイン振興基金設置 旭川市商工部工業課に産業デザイン係、都市開発部都市計画課に都市景観係設置
平成2年	1990	国際家具デザインフェア旭川'90(IFDA) 開催(第1回) 旭川市都市景観賞創設 北海道東海大学大学院芸術学研究科生活デザイン専攻開設
平成3年	1991	織田コレクション「チェアーズギャラリー」開設 頭脳立地法に基づく地域指定 旭川市都市景観基本計画策定 旭川市デザインセミナー開始 旭川市景観ウォッチング&フォーラム開催
平成4年	1992	地域デザイン会議'92北海道開催 デザインワークショップ旭川開催 デザイン創造支援拠点研究会開催 株式会社旭川産業高度化センター設立
平成5年	1993	旭川市都市デザイン誘導計画策定 旭川公共サイン設備指針策定
平成6年	1994	あさひかわのデザイン展開催 芸術工芸会開催
平成7年	1995	旭川市都市景観形成推進計画策定 旭川駅周辺開発シンポジウム開催 旭川街あかり計画策定 緑橋通にイルミネーション設置
平成8年	1996	旭川リサーチセンター開設 旭川の広告デザイン展開催 デザイン都市形成シンポジウム開催
平成9年	1997	デザインギャラリー開設(北の風南の風クラフト展'97開催) 上川倉庫にコレクション館・リハーサルホール開設 橋梁景観シンポジウム開催 旭川市デザインビジョン策定 旭川市工芸指導所を、旭川市工芸センターに改称
平成11年	1999	旭川デザイン協議会設立
平成13年	2001	上川倉庫群が国の有形文化財として登録
平成15年	2003	旭川家具工業協同組合(7社)が世界最大級家具見本市「ミラノ・サローネ」に初出展
平成17年	2005	ケルン国際家具見本市へ出展
平成27年	2015	旭川家具産地展を旭川デザインウィーク(ADW)に名称を変更
平成29年	2017	IFIインテリア宣言に調印 ④
平成31年	2019	あさひかわ創造都市推進協議会を設立
令和 元年		ユネスコ創造都市ネットワーク(デザイン分野)への加盟認定 ⑤
令和4年	2022	Meet up Furniture Asahikawa 2022開催(第1回)
令和5年	2023	旭川デザインセンターが産業観光拠点としてリニューアル
令和6年	2024	ユネスコ創造都市ネットワーク・サブネットワーク会議(デザイン都市会議)開催
令和7年	2025	ミケーレ・デルルッキ展～ミラノと旭川のデザインの架け橋～開催



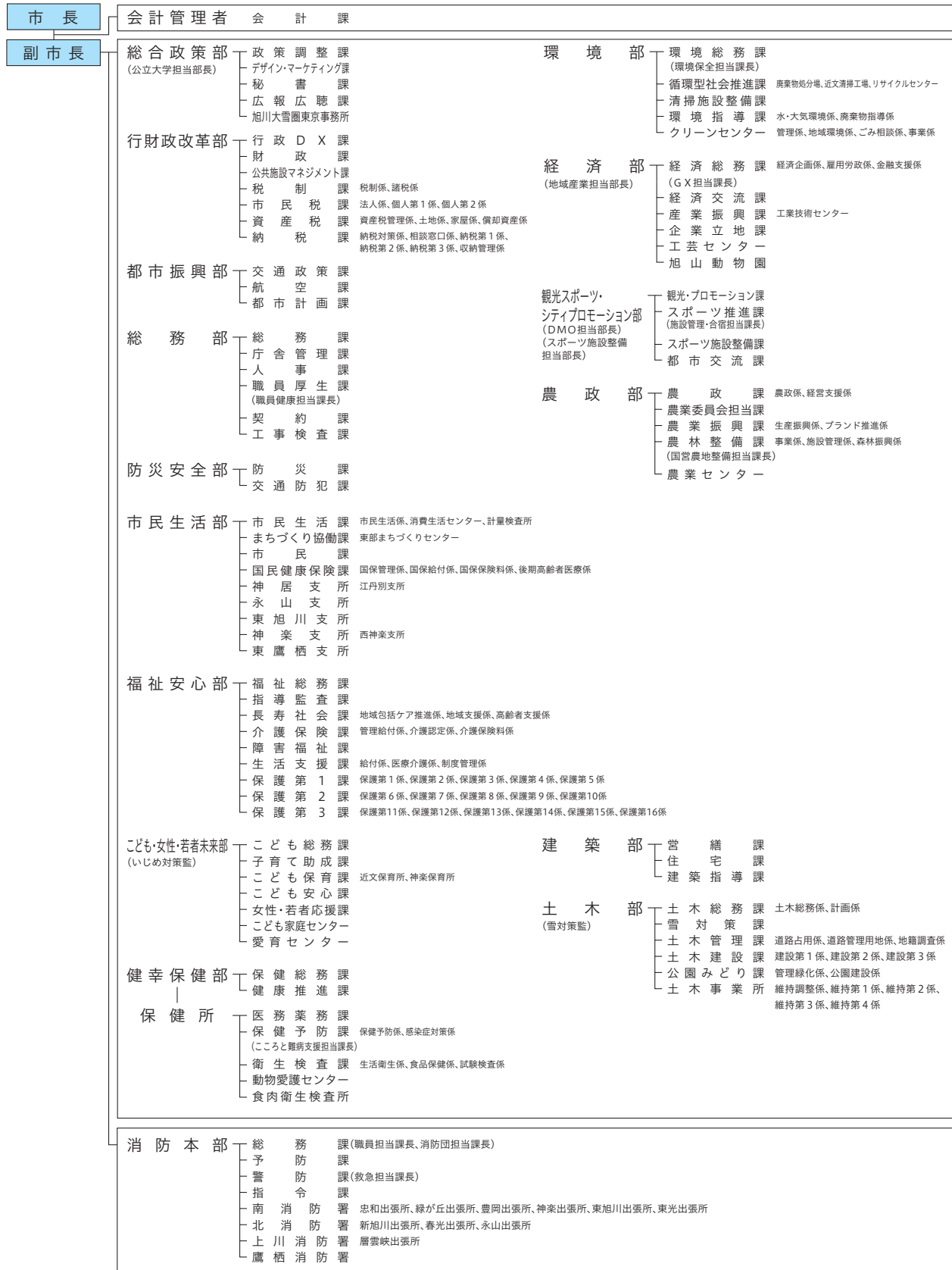
④

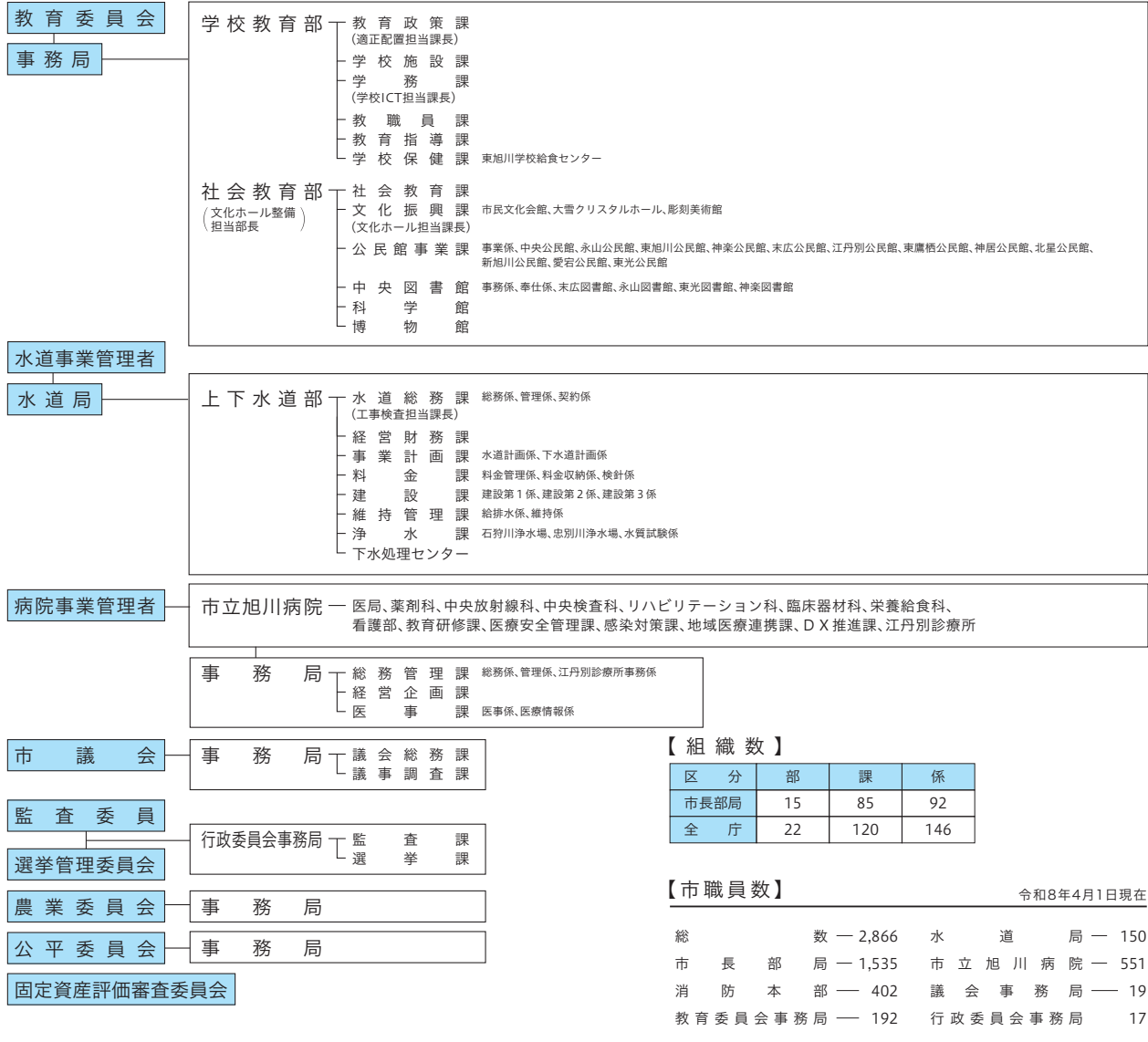


⑤

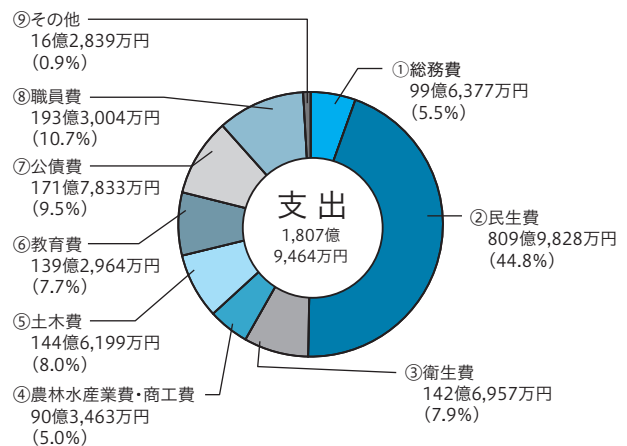
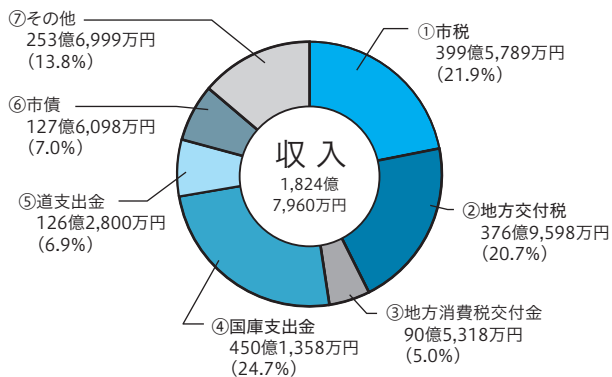
行政／財政

旭川市機構図





決算状況(令和6年度一般会計) 資料：行財政改革部

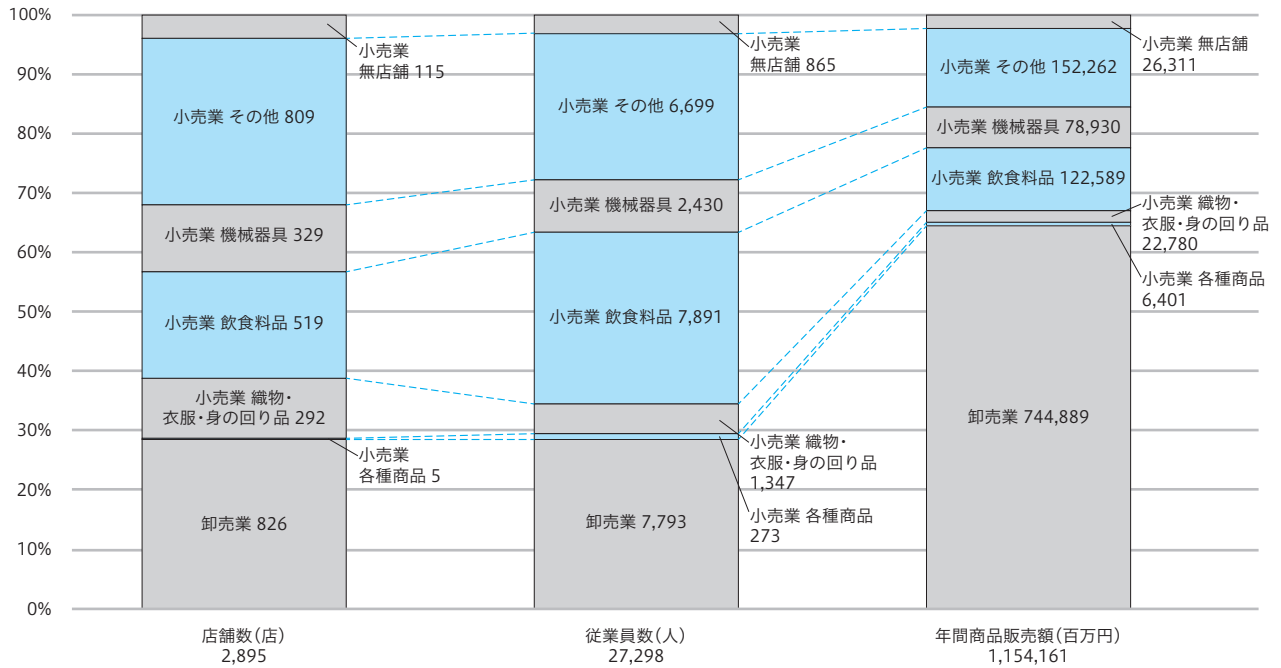


商業 / 農業

商業

卸・小売業の概況

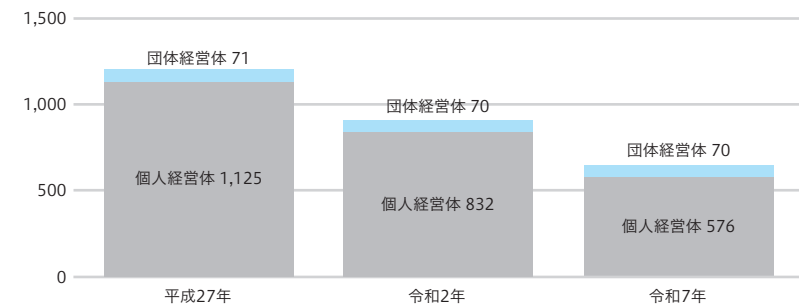
資料：経済センサス - 活動調査 令和3年6月1日現在



農業

農業経営体数

資料：農林業センサス 各年2月1日現在



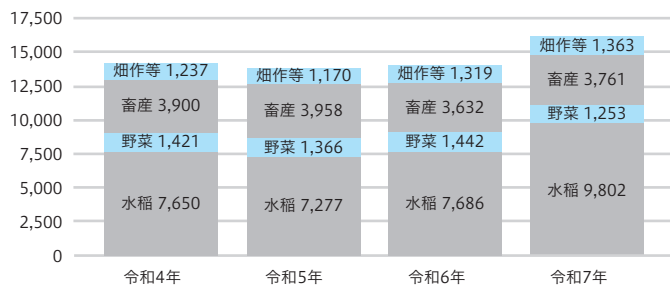
水稲収穫量 ランキング(北海道)

資料：農林水産省 令和7年度

順位	市町村	収穫量(t)
1	旭川市	38,200
2	岩見沢市	31,500
3	深川市	30,000
4	名寄市	23,300
5	美瑛市	21,100

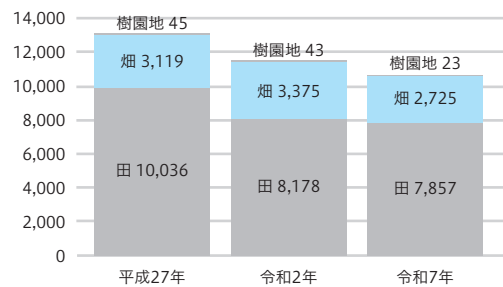
農業生産額

資料：農政部 各年2月1日現在



経営耕地の状況

資料：農林業センサス 各年2月1日現在

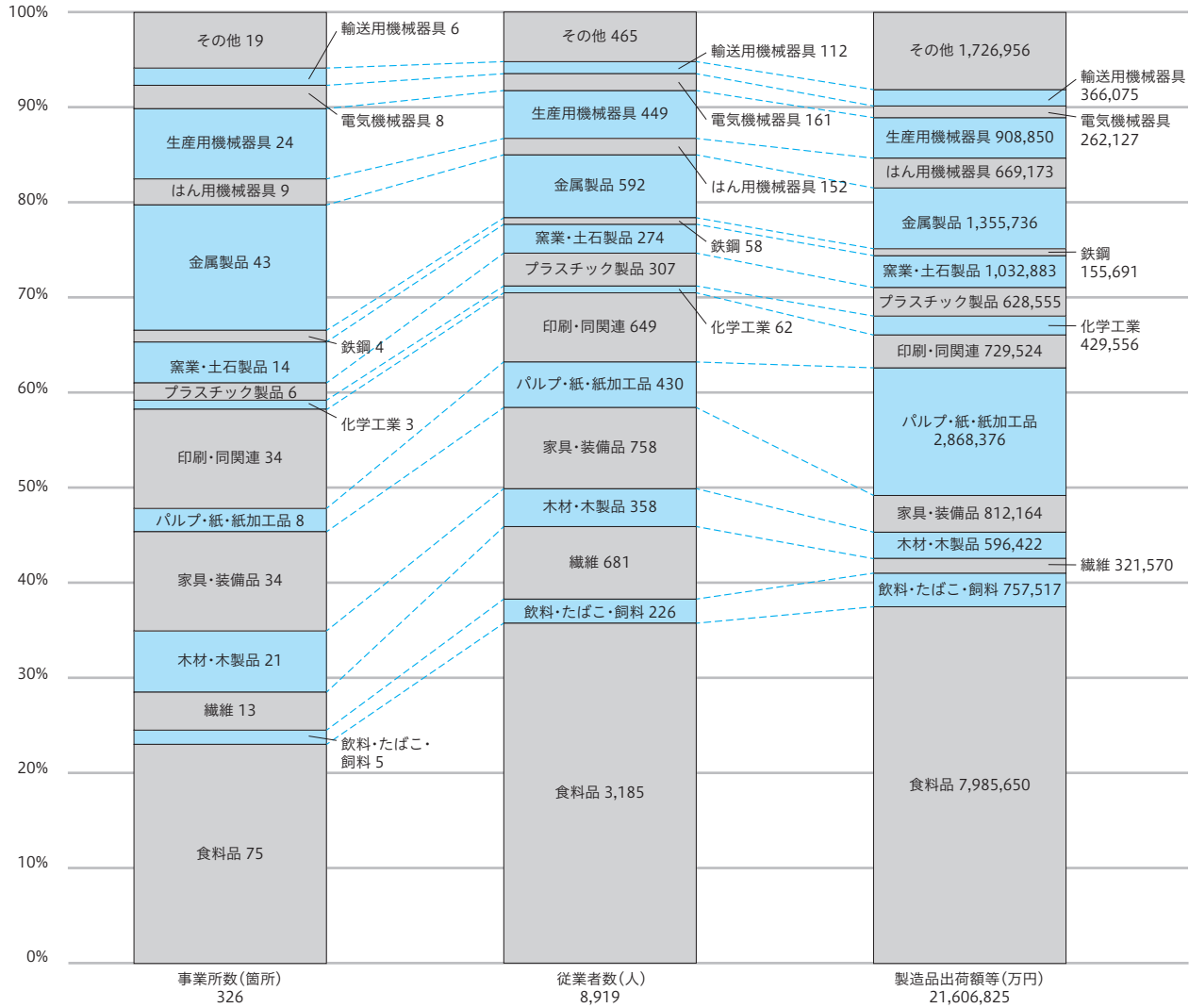


工業 / 教育・子育て

工業

製造業の概況

資料：経済センサス - 活動調査 令和3年6月1日現在



教育・子育て

学校 資料：学校基本調査

令和7年5月1日現在

区分	学校数	在学者数(人)
小学校	51	13,253
中学校	26	7,285
高等学校	13	7,974
高等専門学校	1	766
大学※	3	2,964
短期大学	1	203
特別支援学校	4	216
専修学校	11	1,182
各種学校	1	333

※大学院を含む。

教育・保育施設 資料：子ども・女性・若者未来部

令和7年4月1日現在

区分	施設数	定員(人)	児童数(人)	
※幼稚園	24	2,010	1,367	
認定こども園	41	4,131	3,835	
保育園	31	2,277	2,053	
地域型 保育事業	小規模保育事業	16	215	157
	事業所内保育事業	3	73	40
認可外 保育施設	地域保育所	9	285	22
	私立認可外保育施設	5	140	65
	事業所内保育施設	10	302	118
企業主導型保育施設	8	172	118	

※国立・私学助成は令和7年5月1日現在。

医療／観光・運輸／人口

医療

医療従事者 資料：医師・歯科医師・薬剤師統計 各業務従事者届 令和4年末時点

職種	従事者数	職種	従事者数
医師	1,339	助産師	126
歯科医師	254	看護師	5,510
薬剤師	853	准看護師	1,272
保健師	210		

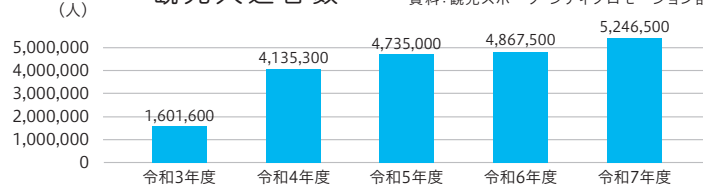
医療施設 資料：健康保健部 令和8年4月1日現在

区分	施設数	病床数
病院	34	6,344
一般診療所	226	333
歯科診療所	167	-
助産所	2	2※
合計	429	6,679

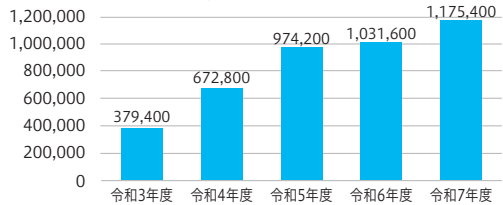
※病床数には、助産所の「入所定員」を含む。

観光・運輸

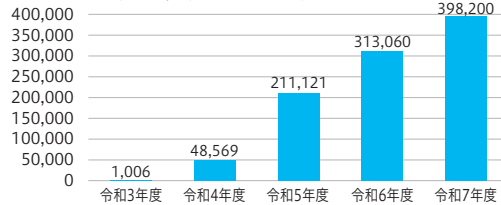
観光入込客数 資料：観光スポーツ・シティプロモーション部



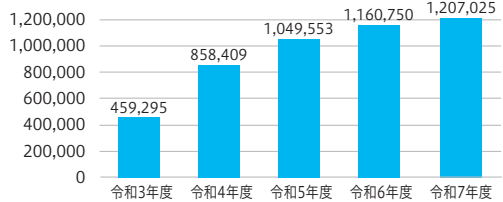
宿泊延数 資料：観光スポーツ・シティプロモーション部



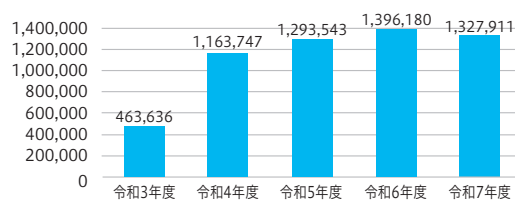
外国人宿泊延数 資料：観光スポーツ・シティプロモーション部



旭川空港乗降客数 資料：都市振興部



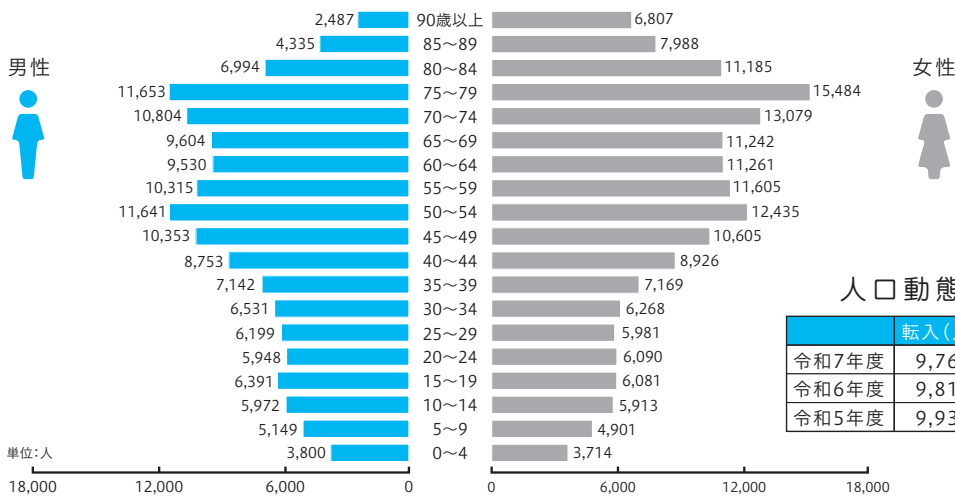
旭山動物園入園者数 資料：経済部



人口

年齢層別・性别人口

資料：住民基本台帳 令和8年4月1日現在

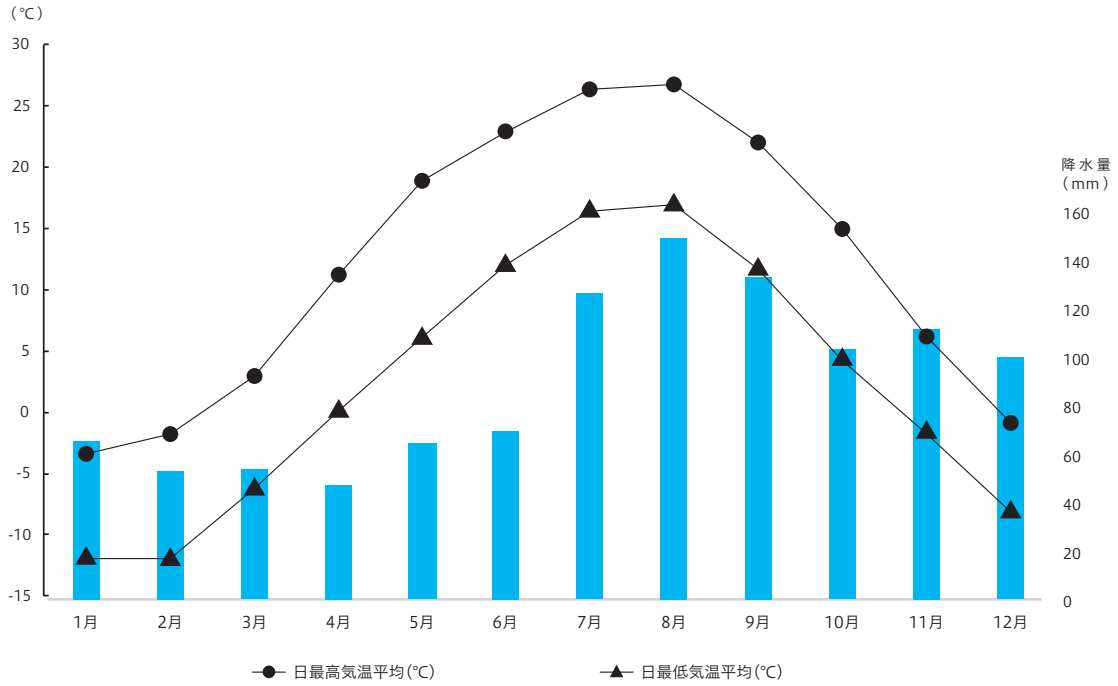


人口動態 資料：市民生活部

	転入(人)	転出(人)	出生(人)	死亡(人)
令和7年度	9,768	9,810	1,366	5,090
令和6年度	9,810	9,905	1,424	5,316
令和5年度	9,930	10,557	1,479	5,291

気象 / 社会基盤

気象 (月別平年値) 資料: 旭川地方気象台



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日最高気温平均(°C)	-3.3	-1.7	3.0	11.2	18.8	22.8	26.2	26.6	21.9	14.9	6.2	-0.8
日最低気温平均(°C)	-11.7	-11.8	-6.1	0.2	6.1	12.0	16.4	16.9	11.7	4.4	-1.5	-8.0
降水量(mm)	66.9	54.7	55.0	48.5	66.6	71.4	129.5	152.9	136.3	105.8	114.5	102.4

注 平年値とは、1991年～2020年の平年値である。

給水情報

資料: 水道局

区分	令和6年度 2024	令和7年度 2025
年間給水量(m ³)	32,758,585	32,816,177

下水道普及状況

資料: 水道局

区分	令和6年度 2024	令和7年度 2025
普及率(%)	97.4	97.4

河川

資料: 土木部

令和8年4月1日現在

区分	管理者	河川数(本)	延長(km)
準用河川	旭川市長	3	4.1
普通河川	旭川市長	118	334.8
一級河川	北海道知事	38	187.4
一級河川	国土交通大臣	7	95.4
合計		166 (実本数140)	621.7

道路

資料: 北海道開発局旭川開発建設部

上川総合振興局旭川建設管理部 土木部

令和8年4月1日現在

区分	道路延長(km)	橋りょう数
国道	77.2	31
道道	208.4	130
市道	2,146.3	593
合計	2,431.9	754

公園

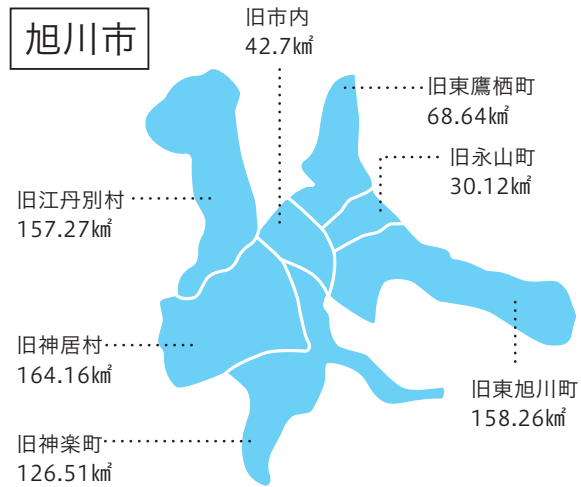
資料: 土木部

令和8年4月1日現在

種別	公園数	面積(m ²)
街区公園	359	607,874
近隣公園	33	515,162
地区公園	7	315,698
総合公園	4	1,248,734
運動公園	3	1,964,681
特殊公園	2	1,996,351
都市緑地	30	1,452,010
合計	438	8,100,510



旭川市の プロフィール



交通アクセス

- 旭川空港
- 東京(羽田) 約1時間50分 (直行便)
 - 東京(成田) 約1時間45分
 - 名古屋(中部) 約1時間55分(季節運航)
 - 大阪(伊丹) 約1時間55分(季節運航)

基本データ (令和8年4月1日時点)

- 市域面積 747.66km²
- 総人口 310,335人
- 男性 143,601人
- 女性 166,734人
- 世帯数 176,132世帯
- 標高 約112.0m (旭川市役所)
- 北緯 43°46'17"
- 東経 142°21'54"

姉妹都市



ブルーミントン・ノーマル両市
(アメリカ合衆国・イリノイ州)

ブルーミントン市は、シカゴ市の南西206kmに位置し、鉄道が往来する農・商・工業の要所です。隣接するノーマル市はブルーミントン市の双子都市となっています。



水原市
(大韓民国・京畿道)

京畿道の道庁所在地で、ソウル市の南44kmに位置する拠点都市です。中心部にはユネスコ世界遺産にも登録されている水原華城があり、歴史的遺跡も多く残されています。



南さつま市
(鹿児島県)

鹿児島県薩摩半島南西部に位置し、農・畜・水産業や加工品、焼酎・電子部品等の地場産業が発達しています。5月には市内各所に砂像が立ち並ぶ吹上浜砂の祭典が開催されています。

友好都市



ユジノサハリンスク市
(ロシア連邦・サハリン州)

サハリン州の州都で、文化、経済、産業の中心地です。東はスサヤ連峰に、西はユジノサハリンスキー山脈の多くの丘に囲まれ、南北にスサヤ川と鉄道が縦断しています。



哈爾濱市
(中華人民共和国・黒龍江省)

哈爾濱市は黒龍江省の省都です。松花江に面する東北地方最大の都市で、省の政治、経済、文化の中心地です。1月には世界的に有名な冰雪祭が毎年開かれています。